

(1) 令和3年度決算報告について

○事務局(概要説明)

- ・令和3年度決算の状況について報告。
- ・令和3年度決算と前年度との比較について報告。
- ・令和3年度決算と投資財政計画との比較について報告。

○委員

- ・投資財政計画との比較で、費用が減っている理由は何か。

○事務局

- ・投資財政計画と比べて工事をやめた、進捗が遅れたというわけではなく、現場でのコスト削減や、ガス水道との協議により補償費等の費用を抑えることができたため。

○委員

- ・支払利息や他会計負担金で、投資財政計画と違いが出ているのはどういう理由からか。

○事務局

- ・支払利息については、実際の借りたときの利率が低かったため。他会計負担金についてはかかった費用に対して、一定割合の交付を受けており、費用が下がると他会計負担金も下がるため。

○委員

- ・過年度損益修正益とは、どういったものか。

○事務局

- ・大阪府の流域下水道負担金で、概算請求したものを翌年度に精算しており、今回差額が返還金として返ってきたもの。
- ・一方で、大阪府の流域下水道維持管理費負担金は、重油や電気代の影響が大きく、大阪府の方から事業費の高騰による負担金の増額が今後見込まれるとのアナウンスがあった。
- ・それによって、当市の方も資本費平準化債の増額も含めて対応を検討しているところである。

○委員

- ・資本費平準化債とは、建設工事費の財源としての起債を平準化するためのものではなかったか。

○事務局

- ・資本費平準化債を企業債償還金の財源とすることにより、資金的収支不足額を補うことができ、それによって内部留保資金を確保することを検討している。

○委員

- ・大阪府の流域下水道事業において、消化ガス発電など、経営努力をされているのか。

○事務局

- ・節電等の様々な取り組みをされていると聞いている。

○委員

- ・以前から節電や省エネなどの取り組みは行われているが、新たな施設を作った節電等は簡単ではない。

○委員

- ・一般企業でも燃料や原油高で30%増くらいになっていて、それを値上げに反映して何とか経営しているが、値上げできない状態であれば経営は難しい。

(2) 経営状況について

○事務局

- ・昨年度の議題とした経営分析及び下水道使用料というテーマを踏まえ、経費回収率が高く大口使用者の占める割合が高いという2つの観点で分析を進めるべく他自治体とのさらなる比較を行った。
- ・比較対象とした自治体においても本市同様に使用料単価が高い大口使用者の使用水量の減少が、収入の減少に繋がっていることが分かり、さらにヒアリングを実施し比較を深めることとした。
ヒアリングの結果、ともに最大の大口使用者が製造業であり、かつ使用水量の全体に占める割合が非常に高く、その動向が全体に与える影響が大きいという共通点があった。
- ・本市最大の大口使用者に対してもヒアリングを行うとともに、決算資料や経営計画等についても収集を行い、現状分析及び今後の展望について予測を行った。
- ・製造業の動向を調査した結果、製造業全体で設備投資では良好な結果となっていた一方で、先行きに対する景況は悪化している様子が見られた。
- ・製造業の景況については、企業規模が小さくなるほど悪化している傾向がみられる。

○委員

- ・八尾市と比較した他市とで、大口使用者の増減度の違いはどうなっているか。

○事務局

- ・八尾市は基本料金450円で基本水量制ではないが、一方他市は基本水量制として10m³まで固定料金となっているなど単純な増減度の比較は難しい。

○委員

- ・経営者側としての考えは分かったが、市民の理解がなければ市に依存するだけになってしまう。

○委員

- ・数量を上げるのか、単価を上げるのか。数量を上げるのであれば使用者を増やす。その使用者は一般家庭なのか企業なのか。企業を増やすなら企業誘致しやすい体系を考えないといけない。

○委員

- ・単に大口使用者の影響が大きいということだけではなく、その上で企業を誘致するような市の施策や、料金体系についてどうするかという議論が必要。八尾市も将来的には、比較した他市のようになることを見越して今後何をやっていくべきなのかという議論が必要なのではないか。

○事務局

- ・使用料を検証するタイミングまでに、八尾市の動向や特徴を捉えるために今回様々な分析を行った。
- ・委員の方からあった意見を踏まえ、引き続き今後の経営状況について分析を行う。

(3) その他

○事務局

- ・4コマ漫画の最新作など広報活動について報告。

○委員

- ・このコロナ禍において節水意識はあまりないように思う。水が貴重だから節水するという考え方から、下水道が使用できることで快適な生活ができるという考え方への切り替えが市民には必要だと思った。

○委員

- ・下水道を使うことは市民の負担になることを訴えないといけない。4コマ漫画についても、読んで疑問を抱かせるような内容にして、読み手自身に考えさせるようにした方がよい。